

## 会議議事録

会議名	令和3年度 第1回 教育課程編成委員会
開催日時	令和3年7月29日（木曜日）10:30～11:50
場 所	本校3階 図書室
出席者	<p>1)外部委員</p> <p style="padding-left: 40px;">一般社団法人広島県歯科技工士会 会長      松井 哲也</p> <p style="padding-left: 40px;">株式会社 愛歯 広島営業所 所長              吉富 嘉朗</p> <p>2)学内委員</p> <p style="padding-left: 40px;">学校長              新谷 英章</p> <p style="padding-left: 40px;">教務主任          宮田 和彦</p> <p style="padding-left: 40px;">教務副主任      木村 卓也</p> <p style="text-align: right;">(参加者合計5名)</p>
<p><b>【議事進行状況及び討議内容】</b></p> <p>1. 10時30分定刻に木村卓也教務副主任が開会を告げ、当委員5名の紹介の後、引き続き新谷英章校長の挨拶があった。</p> <p>2. 議長の選出は、当委員会実施規程により新谷英章校長が議長となり協議に入った。</p> <p>3. 議題</p> <p style="padding-left: 20px;">1)授業計画の概要説明</p> <p style="padding-left: 40px;">宮田和彦教務主任から、授業科目、授業実施計画表、講義・実習シラバスが示され、昨年度と変更の無いことの説明があった。</p> <p style="padding-left: 40px;">また、中期計画（2019年～2023年）についての説明があり、この計画に基づいて、目標の達成に向けて努力しているとの報告があった。</p> <p style="padding-left: 40px;">尚、各資料は別紙の通りである。</p> <p style="padding-left: 20px;">2)シラバスへの講師の実務経験表記について</p> <p style="padding-left: 40px;">令和2年4月から高等教育の就学支援新制度の施行に伴い、シラバスに実務経験のある教員（本校に就任前の経歴を有する者、あるいは現職）による授業科目であることを表記することになった旨の報告があった。</p> <p style="padding-left: 40px;">尚、表記の種別表及び、常勤・非常勤教員の実務経験一覧表は別紙の通りである。</p> <p style="padding-left: 20px;">3)卒業生の就業先アンケート結果報告</p> <p style="padding-left: 40px;">令和2年3月の卒業生について、就業先に1年後の就業状況のアンケートを実施し、その集計結果の報告があった。</p> <p style="padding-left: 40px;">尚、集計結果は別紙の通りである。</p> <p style="padding-left: 20px;">4)意見交換</p> <p style="padding-left: 40px;">これまでの議題及び報告について、意見交換を行った。</p> <p style="padding-left: 40px;">意見交換（討議内容）の詳細は別紙のとおりである。</p>	

5)その他

入学定員を35名から30名に変更（令和4年4月入学生より施行）した旨の報告があった。

4. 次回の会議日程を、令和4年2月17日（木曜日）に決めて閉会した。

以上

## 第1回 教育課程編成委員会 討議内容

新谷議長 議題1の授業計画の概要説明について、事務局より説明してください。

### 議題1) 授業計画の概要説明

事務局 昨年度の授業計画資料と、ほとんど変更はありません。

一方、本校は2019年に、向こう5年間の中期計画(2019年~2023年)を立てておりますので、その中期計画についてご説明いたします。追加資料をご覧ください。

#### 【教学】について

\*大項目1:「教育の質の向上」を上げており、その内容には6項目掲げております。

①教育目標、到達目標の向上

②歯科関係企業と連携した授業

令和2年度から始めたのですが、歯科技工所の3社と企業連携授業の協定書を交わして実施しております。

③歯科関係企業のニーズに合った人材の育成

これにつきましては、昨年卒業し就業した先に、就業1年後の就業状況のアンケートを実施しましたので、後ほどご報告いたします。

④実習内容の見直し(教育カリキュラムの編成)

学校関係者による教育課程編成委員会の助言を参考にする。

⑤CAD/CAM・3Dプリンター教育の充実

⑥教員の資質向上(スキルアップ)のための研修会に参加をする。

昨年、今年と新型コロナウイルスの影響で、出向いての研修には参加できなかったが、逆にWeb研修(ウェビナー)には、参加しやすい環境にあるため、出来るだけ参加するように努めています。

\*大項目2:「学生支援の充実」として、7項目掲げております。

①学習支援の充実(国家試験合格率100%の維持)

ここ3年、全員が合格していますので、今後も維持していきたいと思っています。

②カウンセリング体制の充実

同じ学園内の山陽女子短期大学に、カウンセラーの先生がおられます。何か相談事があればご協力出来ることをご返事を頂いております。

③休退学者の減少(5%以下)

年間2~3名(10%)の退学者が居る状況です。退学理由が成績不良の場合は、対処の仕方もありますが、心の病の場合には対処方法として、先ほどのカウンセラーに相談したり、或いは保護者との連携をもってしても難しいところがあります。

④高等教育の就学支援新制度(高等教育無償化)対象校の取得

本年度申請する予定でしたが、申請するためには「過去3年間の充足率が6割以上」

という機関要件があり、本校は充足していないため断念した経緯があります。

⑥就職における歯科関係企業からの評価を高くする（即戦力となる人材の育成）

これについては、後の議題でお話したいと思います。

⑥インターンシップの授業としての体系化

今年も2社からご案内をいただいております、8月に学生全員がどちらかに参加するように計画しております。授業としては体系化しておりません。

⑦歯科技工所見学の継続

インターンシップの2社以外の技工所については、就職活動の一環として、随時、学生個人の希望により、進路指導担当者が技工所と連絡を取り、実施する方針である。

\*大項目3：「研究の推進」として、学術雑誌への投稿・学会発表

これについては、出来ていません。少人数の専任教員では、日々の授業、授業準備及び、実習が遅れている学生の放課後の指導等に時間がとられているのが現状です。

\*大項目4：「設備・備品の充実」として、CAD/CAM・3Dプリンター等、新技術の設備の導入

本校には、借用中のCADが2台ありますが、機能も古く一度に数名の学生に対応できない状況にあります。本校の経営状況を鑑みながら、CAD（スキャナー）の導入、授業の充実を図っていきたくと思っています。

先日、学校関係者評価委員会が開催され、特に授業関係で言いますと、デジタル化が進んでいる現状、本校のデジタル授業の割合が少ないのではないかという指摘を受けております。これからはデジタル化の授業を多くしていかなければならないかと思っています。それが企業から求められているところでもあろうかと思っています。クラウンのWax upも手作業では行っていない企業があります。CADでの設計が殆どだというふうに聞いております。

新谷議長 ただ今の説明について、何かご質問、ご意見等がございますか。

吉富委員 先程、デジタル授業の割合が少ないという説明がありましたが、他校の授業と比較して少ないといわれているのか、或いは何か基準があるのですか？

事務局 基準はないのですが、CAD/CAMをカリキュラムとして入れていなくて、あくまでも歯科技工実習の中で、CADに触れる時間は、僅か1日6時間位しか行っていないというのが現状です。他校ではCAD/CAMという教科として組み入れている学校もあります。

松井委員 講義は何回位ですか？

事務局 歯科理工学、有床義歯技工学、歯冠修復技工学の中で、CAD/CAMに触れられる時間は、各2～4時間位だと思います。それぞれの教本の中に掲載されています。

松井委員 個人の技工所では、CAD/CAMを持っていないところが大半ですが、大手の技工所に就職される場合、歯列の調和の事なども考えると、学校側としては、手作業を教えておいてもらわないと、いきなりデジタルをやれとなっても、とても出来るものではありません。

その事が一つと、今問題になっているのが、設計をA Iでやる時代に来ています。設計を殆どしなくてもよい可能性が出てきています。そうすると悩ましいところがあります。それを追っていく必要は教育としてはないかなと思います。基本をしっかり受けてもらうのが大事だと思います。3Dシェープも、A Iでスキャン データを送ると設計したものが送られてくるので、技工士が設計に携わらなくてもよくなるが、その点が問題になっています。

新谷議長 結局、大学で義歯を作らせる実習が少なくなっているようです。技工に関しては全部、歯科技工士に頼っているようですね。実際に義歯の設計等は、先生はされているのでしょうか。

松井委員 設計をされる先生はおられますが、ほとんどの先生が歯科技工士にお任せというのが、現状でしょうか。それで装着できなかつたりすると怒られますけど。

新谷議長 技工士学校も2年間という短い期間の中で、全てを教育することは出来ない。

松井委員 方向性としては、今お話したようになって来るので、CAD/CAM に関してもお任せということになります。法律のこともあります、やはり基礎をしっかり教えておいて欲しいと思います。不備で返却された技工物が、どこが悪かったのかという判断ができないという事態が起きてくる。CAD/CAM が主流になってくると思いますが、それだけに執着してしまうのはどうかと思います。

吉富委員 少し話が違いますが、学校の試みとして、機械、設備の導入により、学生がCAD を操作している画像をSNS等で流して、アピールしてはどうですか。

松井委員 関東の学校が行っていますが、画像を見る限り、綺麗ですし若い人は飛びつきますね。実態は最後の仕上げの部分は、研磨等で粉塵が舞ったり汚れる仕事ではあります。

新谷議長 近年、女性技工士が増えていますが、雇われてみてどうですか？

吉富委員 男女で比較するわけではないのですが、丁寧かつ、細かなところまで気が付いてくれます。また、職場が華やかになりますし、他の男性社員も清潔で綺麗にしなければならなくなります。

松井委員 弊社は、私以外は全員女性ばかりですので大変です。作業をしている隣から掃除されます。

事務局 かなり前の話になりますが、学生が技工所を見学に行って、見学日誌を提出しますが、ほとんどの技工所の第1印象が、「汚かった」でした。女性が入ると随分変わるものですね。良い傾向だと思います。

松井委員 話はちょっと違いますが、女性に限らず、労働条件（働き方改革）等の見直しも必然的に実施していかなければならなくなってきました、この見直しにより、早期の退職率が下がれば結構なことだと思います。卒後、即戦力になる人は少ないです。2～3年たって戦力になる頃に辞められては、今までの苦勞も水の泡です。

技工士が少なくなった今、大事に育てなければなりません。

新谷議長 女性の外交（営業）はどうですか。

吉富委員 弊社では8割が男性ですが、女性は人当たりが優しいので、先生の受けは良いようです。当然、歯科技工士の資格を持つ営業が、仕事の細かい指示の理解が早いので有利です。

新谷議長 義歯の指示等はどうか。

吉富委員 細かい指示の時は、“後ほど電話ください”と、いう事になります。

松井委員 今は、パソコンでやり取りできます。写真データを送ったり、スキャンデータ等で、細かい指示を頂いたりしています。

義歯の設計ですと、“アンダーカット量が幾ら”とか、“アンダーカット量が取れないので、設計を変えましょうか”等、パソコンで話をしながら出来ます。

#### 議題2) シラバスへの講師の実務経験表記について

令和2年4月から高等教育の就学支援新制度の施行に伴い、シラバスに実務経験のある教員（本校に就任前の経歴を有する者、あるいは現職）による授業科目であることを表記することになった旨の報告があった。

尚、表記の種別表及び、常勤・非常勤教員の実務経験一覧表は別紙の通りである。

また、このことは、本校のホームページの「情報公開」として記載しています。

#### 議題3) 卒業生の就業先アンケート結果報告

令和2年度第2回委員会において、歯科医院及び歯科技工所が、学校に対してどのような教育、人材育成を求めているか等を把握するために、本校を卒業して1年目の社員の勤務状況について、アンケートを取ったので、ここに結果と考察を報告いたします。

今回の対象者は、1歯科技工所に3～4名が就業した事や、対象人数も少ない事もあり、回答が偏った傾向にありました。入社直後の配属先については、約2割の者がCAD/CAMの部署に携わっており、オペレーターが求められていることも伺えました。残りの8割の者は、模型製作や咬合器装着等、昔ながらの仕事から入って行くようです。

最も気になったところは、企業の求めている事、或いは学校教育に求めている事は、技術的なことよりも、先ずは“挨拶ができる”、“職場内でのコミュニケーションが取れる”等の人材を求めていることが、アンケート集計からも分った。技術的な面では基礎は十分に指導していただき、後は入社後に就業先（歯科医院、歯科技工所）のやり方で育成して行くとの回答が多かった。

以上

——本校卒業生の勤務状況についてのアンケート結果——

●対 象

☆アンケート実施時期：令和3年3月（就業約1年の者）

☆就業者：17名（16名が対象）

☆依頼企業数：10（3歯科医院、7歯科技工所）

☆回答数：9（2歯科医院、7歯科技工所）

☆未回答数：1（1歯科医院）

●アンケート内容

1) 本校の卒業生は現在、勤務していますか。

・はい 14名・・・88%

・いいえ 2名〔7月、11月まで勤務していました。〕・・・12%

2) 遅刻、欠勤が多い（多かった）ですか。

・はい 2名・・・12%

・いいえ 14名・・・88%

3) 入社直後、基本的な技術が出来ていた。

・とてもそう思う 2社3名・・・19%

・そう思う 2社3名・・・19%

・そう思わない 1社8名・・・50%

・全くそう思わない 1社1名、1医院1名・・・12%

4) 1年後、入社直後に比べて技術、スピードが上達した。

・とてもそう思う 5社9名・・・60%

・そう思う 1社4名・・・26%

・そう思わない 1院1名・・・7%

・全くそう思わない 1社1名・・・7%

5) 戦力になっている。

・とてもそう思う 5社9名・・・60%

・そう思う 2社3名・・・20%

・そう思わない 1社1名・・・7%

・全くそう思わない 1社1名、1医院1名・・・13%

6) デジタル技工（CAD/CAM）を担当していますか。

・はい 3社3名・・・20%

・いいえ 6社12名・・・80%

7) 6)で“はい”と回答した方にお聞きします。

デジタル技工（CAD/CAM）を担当したのは、いつ頃からですか。

・4～6月 3社3名 ・7～9月、・9～11月、・12～3月 なし

8) 入社直後に担当した仕事内容は何ですか。（記述）

- A社) ①模型作り、CAD/CAM冠の製作  
②咬合床の製作、義歯埋没～レジン填入
- B社) ①クラウンブリッジ
- C社) ①クラウンブリッジの鋳造、適合、研磨  
②デンチャーの維持装置の蠟型採得  
③デンチャーの埋没、重合  
④デンチャーのロウ堤および個人トレーの製作
- D社) ①CAM全般
- E社) ①歯冠修復関係
- F社) ①クラウンブリッジの模型担当（現在もおなじ）  
②アタッチメント  
③マウント・形成
- G社) ①デンチャーの咬合器装着
- H院) ①本人が歯科助手としての就職を希望した為、歯科助手として採用。  
最初は器具の洗浄、片付け、診療の準備のみでしたが、その後、患者誘導、簡単な石膏注入（工事的なことは、石膏注入のみで終わりました。）
- I院) ①保定用のマウスピースの作製
- J院) 未回答

9) 技工士学校には、どのような教育を望まれますか。（記述）

- A社) \* “あいさつ” 等の生活面（体調管理も含めて）の指導。
- B社) \* 石膏彫刻
- C社) \* 知識、技術は国家試験に合格する程度で良い。今と、大きく変える必要はないと思う。
- D社) \* チームワーク、協調性を養うことが出来る教育の必要性を感じる。
- E社) \* 基礎的なこと
- F社) 技工は勿論のこと、生活態度  
\* 学校の授業と技工所の仕事内容にギャップがあることを理解させてほしい。
- G社) \* 歯科技工士の仕事が、いかに楽しくやり甲斐のある仕事か、興味を持てるような教育をして欲しい。
- H院) \* なし
- I院) \* 特になし
- J院) 未回答

10) 企業（技工所）が求める人材（技工士）について、ご意見を聞かせてください。（記述）

- A社) \* コミュニケーションがとれる素直な子。
- B社) \* “あいさつ” ができる。
- C社) \* 勤勉さと、最低限のコミュニケーション能力。
- D社) \* 技術がより多く身に付けていれば、それに越した事はございませんが、

それ以上に、将来への希望や野望に満ちた人材は伸びると考えています。

- E社) \*なし
- F社) \*向上心や貢献心を持った人材  
\*歯科技工士として、将来のビジョン（目標）を持っている人。
- G社) \*歯科技工士にとって、一番大切なことは、続けることだと思うので、簡単にあきらめない人材。
- H院) \*なし
- I院) \*特になし
- J院) 未回答

#### 1 1) その他

- A社) \*1名、12月で希望退職した。就業中の居眠りが多く、体調管理ができていない様子でした。
- D社) \*入社いただいたFさんはとても明るく、元気で協調性もあり、技工に対しても前向きで、大変頑張ってくれています。これからは楽しみです。
- D院) \*石膏注入も、練和からままならない状況でした。  
昨秋に、一度退職を考えたようでしたが、社会人としての基本的なことが身に付いていなかった為、職種を変えても同じことを繰り返すと思い、もう少し続けるようにアドバイスしました。  
しかし、3月に入り退職を再度申し出た為、受理しました。

以上